

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
会長 戸井田 愛子
〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-2
電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
編集 「身障かながわ」編集委員会
編集委員長 新井 修身
印刷 有限会社 横浜綜合印刷

- 平成30年度事業報告・収支決算、県身連職員紹介 ..... ①
□ 平成から令和へ～平成30年間の県身連 ..... ②
□ 逗子市身障協会の活動（逗子市） ..... ③
□ 創立60周年に向けて（海老名市） ..... ④
□ 県身連肢体部・社会見学のご案内 ..... ④
□ さんぼみち（松田町） ..... ⑤
□ みんなの広場（二宮町） ..... ⑤
□ 私とスポーツ ..... ⑥
□ 県身連事業予定（7月～10月） ..... ⑥
□ 編集室から ..... ⑥

平成三十年度
事業報告・収支予算

県身連の平成三十年度事業報告と収支決算が、五月の理事会・評議員会で原案どおり全会一致で承認されました。

平成三十年度の各事業の実施に当たっては、各地域団体との緊密な連携を図るとともに、県・市町村など関係機関の協力を得ながら着実な執行に努めた。

団体の自主事業としては、日本身体障害者福祉大会（群馬県）、関東ブロック協議会（茨城県）への参加や神奈川での開催、日本身体障害者団体連合会と連携し、情報の収集や要望活動を行い、情報の提供に努めた。なお、津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件を忘れずに、この事件後に制定されたともに生きる社会かながわ憲章の精神をもって、障害者差別解消法の講演会や講習会を開催し、障害に対する理解と認識を高めるための啓発を行った。

県補助事業については、身体障害者福祉大会等を開催し、安心し

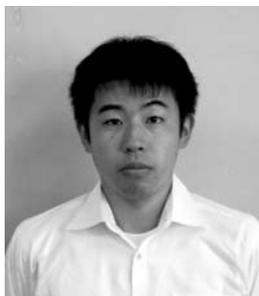
平成30年度神奈川県身体障害者連合会事業決算 (単位:円)

Table with 4 columns: No., 事業科目, 決算額, 予算との増減. Rows include management fees, personnel costs, meeting fees, etc., totaling 79,851,852.

て生活できる福祉社会の実現に向けて、身体障害者相互の連携を深め着実な推進を図った。

県身連新職員紹介

常勤職員 浅野 宏次



〈主な担当〉
体育振興・視覚・聴覚部会

皆さん、はじめまして。昨年十二月より県身連の職員として入りました浅野宏次と申します。大学では障害者スポーツに関わるサークルに入り、ボランティア活動をしていました。また、サッカーが大好きで現在はブライインドサッカーをやっています。至らない点が多々あるかと思いますが、一杯頑張ります。
これからどうぞよろしくお願ひいたします。

平成から令和へ～平成30年間の県身連～

年号	県身連関係の主な出来事	国、県の出来事
平成元年 (1989)	・南太平洋極東身体障害者スポーツ大会を神戸市で開催 ・身体障害者福祉法制定40周年	・ともしびショップ1号店開店 ・消費税実施
平成2年 (1990)	・サーフ'90協賛事業の開催 ・社会福祉関係八法の改正、	・障害をもつアメリカ国民法(ADA)制定 ・バブル経済崩壊
平成3年 (1991)	・法人20周年記念神奈川県身体障害者福祉大会を開催 ・身体障害者自立支援事業創設	・NHK・教育テレビで手話設置 ・鉄道駅エスカレーター整備指針策定
平成4年 (1992)	・日身連関東ブロック代表者会議を神奈川県で開催 ・国連障害者の十年～完全参加と平等～(最終年)	・福祉バス「ともしび号」運行開始 ・週休2日制スタート
平成5年 (1993)	・社会参加促進センターを県身連内に設置(受託) ・障害者のためのガイドブック(横須賀三浦地区版)発行	・皇太子・雅子様ご成婚 ・障害者基本法施行
平成6年 (1994)	・日身連関東ブロック盲人卓球大会開催 ・第1回全国盲人バレーボール大会開催	・ハートビル法公布 ・子供の権利条約を批准
平成7年 (1995)	・障害者の主張発表会及び障害者による作品展開催 ・障害者プラン～ノーマライゼーション7ヶ年戦略の策定	・阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件 ・精神保健福祉法施行
平成8年 (1996)	・日身連関東ブロックソフトボール大会開催 ・「かながわ・ゆめ大会」選手強化事業開催	・恩寵園事件 ・神奈川県福祉の街づくり条例制定
平成9年 (1997)	・関東地区盲人社会人野球大会開催 ・かながわ新総合計画スタート	・介護保険法制定 ・障害者雇用促進法改正
平成10年 (1998)	・全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」開催 ・全国盲人社会人卓球大会開催	・知的障害者福祉法施行 ・かながわ権利擁護相談センター開設
平成11年 (1999)	・日身連関東ブロック代表者会議を神奈川県で開催 ・身体障害者相談員連絡協議会発足	・成年後見制度制定 ・国際連合、国際高齢者年
平成12年 (2000)	・日身連関東ブロック大会を神奈川県で開催 ・かながわ新総合計画21策定	・介護保険制度施行 ・交通バリアフリー法施行
平成13年 (2001)	・第1回全国障害者スポーツ大会(宮城県)開催 ・IT基礎機能講習会開催	・アメリカ同時多発テロ事件 ・ハンセン病補償法施行
平成14年 (2002)	・日身連関東ブロック相談員研修会を神奈川県で開催 ・障害者インターナショナル世界会議(札幌大会)開催	・身体障害者補助犬法施行 ・新障害者プラン策定
平成15年 (2003)	・県身連ホームページ開設 ・第56回全国盲人福祉大会「神奈川大会」を開催	・支援費制度施行 ・万景峰号入港(新潟県)
平成16年 (2004)	・障害者情報通信技能促進事業開催 ・NPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会設立	・障害者基本法改正 ・発達障害者支援法施行
平成17年 (2005)	・50周年記念神奈川県身体障害者福祉大会開催 ・「県身連50年の歩み」発行	・障害者自立支援法成立 ・介護保険法改正
平成18年 (2006)	・日身連関東ブロック代表者会議を神奈川県で開催 ・神奈川県障害者社会参加推進センターパンフレット発行	・国際連合が障害者権利条約を採択 ・障害者雇用促進法改正
平成19年 (2007)	・第1回神奈川県障害者スポーツ大会を開催 ・身障かながわ第100号発行	・児童虐待防止法改正 ・「重点施策実施5ヶ年計画」策定
平成20年 (2008)	・障害者スポーツフェスティバルの開催 ・関東ブロック合同友愛の集いを神奈川県で開催	・後期高齢者医療制度開始 ・リーマンショック(世界同時不況)
平成21年 (2009)	・全国障害者スポーツ大会サッカー競技関東地区予選会開催 ・第1回神奈川県障害者文化芸術祭を開催	・障がい者制度改革推進会議の設置 ・裁判員制度の運用開始
平成22年 (2010)	・障害の理解を促進するパンフレット発行 ・全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣業務開始(受託)	・日本年金機構発足 ・子ども手当制度施行
平成23年 (2011)	・宿泊施設好事例集の発行 ・法人移行準備委員会の開催	・東日本大震災 ・改正障害者基本法成立
平成24年 (2012)	・公益法人移行認定申請書の提出 ・災害時における障害に対する理解促進パンフレット作成	・障害者総合支援法成立 ・東京スカイツリー開業
平成25年 (2013)	・公益財団法人へ移行 ・障害に関する情報交換会(障害者団体)の開催	・障害者差別解消法成立 ・障害者権利条約に批准
平成26年 (2014)	・障害者権利条約講演会(シンポジウム)の開催 ・全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技関東地区予選会開催	・リニア中央新幹線着工 ・認定社会福祉士制度開始
平成27年 (2015)	・第60回神奈川県身体障害者福祉大会開催 ・全国障害者スポーツ大会サッカー競技関東地区予選会開催	・マイナンバー制度スタート ・介護保険法改定
平成28年 (2016)	・精神障害者スポーツ大会開催事業(受託) ・スポーツサポーター養成事業(受託)	・北海道新幹線開業 ・「ともに生きる社会かながわ憲章」の策定
平成29年 (2017)	・文教施設における障害への理解促進講習会の開催 ・富士登山事業(最終年)	・社会福祉法改正 ・小田原ジャンパー事件
平成30年 (2018)	・高尾山登山事業の開催 ・日身連関東ブロック代表者会議を神奈川県で開催	・北海道胆振東部地震 ・西日本豪雨

## 逗子市身体障害者

### 福祉協会の主な活動

#### 「バリアフリー体験旅行」 生みの親

逗子市 大石 忠おおいし ただし

当協会はお陰様で創立67年の歴史を歩きました。皆様の励ましと

### 市町村のページ

ご支援にお礼申し上げます。現状の課題としては、会員の老々介護、老障介護、老病介護で役員の入り手が無い、若い方々の入会が少ないなど前途多難にあります。幸いに先輩たちから受け継いだ「絆・協調・和」を大切に、心をひとつにして活動をしていきます。特に紹介したいのは、市民である日中交流協会の会長もなされた根本安雄様が平成元年3月から、ご自分の誕生日を記念し、障がいがあっても社会を見出し、視野を広げてほしいと毎年100万円の寄付をいただき、逗子市内の育成会、ろうあ協会等障がい当事者団

体が活用させていただきました。当協会も本年度が最後になります。が、これまで海外、国内含め8回、延べ約210名の方がバリアフリー体験旅行を楽しみ、人生に勇気をいただきました。残念なのは、ご本人が高齢のため平成26年2月に逝去をされました。紙上をかりて、哀悼の意を表します。

なお、最後の旅は「平成」から「令和」への記念として試案ですが、伊勢神宮参りを検討しています。



## 創立六十周年に

### 向けて

海老名市 佐藤 みよ子さとう みよこ

我が街海老名市は、神奈川県の中核にあり、JR相模線、小田急小田原線、相模鉄道と鉄道が三線、第一東海自動車道(通称東名高速)、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が通る交通の利便性の良い所があります。又今年、ラグビーワールドカップの公認キャンプ地としてロシアチームが九月二十日〜十一月二日迄、海老名市に滞在する予定になっています。

海老名市身体障害者伸生会は、来年東京オリンピック開催の年に創立六十周年を迎えることとなります。始まりは昭和三十五年十二月、傷痍軍人会としてでした。現在は肢体部(内部障害含む)聴覚部、視覚部があり、会員数は百名弱です。海老名市では「かかわり。つながり。ささえあい。」をスローガンに「ともに認めあうまち」海老名宣言を出しています。伸生会は、海老名市障害者団体連合会に属して他団体と一緒に市との意見

交換や、協力体制をとりながら活動の幅を広げていきます。伸生会の主な活動としては年二回のバス研修旅行、今年度は六月に山梨県南アルプス市へさくらんぼ狩りに行って来ました。同じ六月に海老名市、座間市二市合同障害者運動会を海老名運動公園で開催しました。みんなで楽しいひとときを過ごしました。十月、十二月には海老名駅周辺で募金活動を行っています。他には連合会主催のふれあい交流会に参加して会員以外の方々と交流したりと、一年を通して色々な行事をしています。又、スポーツ活動としては、フライングディスク、卓球、ダーツ等有志が集まり練習を続け大会にも参加しています。

これからも会員皆様と楽しく活動を続けていけたら良いと思っています。



海老名中央公園 観光シンボルモニュメント「七重の塔」

～県身連肢体部・社会見学のご案内～

## 関東最大級パワースポット「三峯神社」をめぐる 「初秋の秩父日帰りの旅」

◆期 日 令和元年9月24日(火)

◆コース



各地 → 狭山PA(トイレ休憩) → 圏央道 → 狭山日高IC → 正丸トンネル  
7:30～8:30

→ 秩父：弁天茶屋(こだわり秩父蕎麦) → 三峯神社(見学) → 皆野寄居有料  
11:30～12:30 13:30～14:30

→ 花園フォレスト(お菓子専門のドライブインでショッピング) → 花園IC  
16:00～16:50

→ 圏央道 → 狭山PA(トイレ休憩) → 各地  
18:30～19:30

◆旅行代金 **¥10,000-**

注) 募集人員 79名(参加申込者が35名を満たない場合は中止)

- 費用に含まれるもの…リフトバス代・有料道路代・昼食代・添乗員費用・旅行傷害保険。
- バスの配車ルート及び時間は、申込締切後に各団体当日責任者様へご連絡いたします。
- 当日は身障者手帳、雨具を必ず持参してください。

◆昼食施設 弁天茶屋 TEL 0494-25-0971 住所：埼玉県秩父市久那 2229-6

- 1階イス席にてご用意。お席までの段差はございません。多目的トイレあり。
- お蕎麦が苦手な方は、うどんに変更致します。

◆観光施設

三峯神社 三峯山中、標高1102mの高海拔地帯にありその山々の強い気が流れ込む龍穴スポット。  
そんな関東一とも言われるパワースポットをこの機会に是非ご覧ください。

花園フォレスト 焼きたてパン、ケーキ等お菓子の専門店が並びます。

◆申込方法

各団体毎に参加者を取りまとめ申込書に記入の上、9月6日(木)までに県身連事務局までお申し込みください。

※申込書は各市町村身障団体長宛にお送りしておりますので、参加を希望される方は所属されている身障団体へお問い合わせください。

- 参加申込締切……………9月6日(金)
- 参加費入金締切……………9月13日(金) ※申込締切後は、規定のキャンセル料が発生します。

さんぽみち

## 松田町の魅力

松田町 内山 幸子  
うちやま ゆきこ

松田町は、酒匂川と山に囲まれ、四季折々を感じる事ができます。

私が住んでいる所は（標高二八三メートル）寄と言います。

一月から二月にかけて、「寄口ウバイまつり」が開催され、二本のロウバイで、黄色花、香りにつまれます。

今年は、花に雪が積もり、とても美しく、県外から多くの方が訪れて賑わっています。

会では、新年会に沖縄県民の方を招待し、歌ったり、踊ったり、笑顔あふれる楽しい一日でした。

松田山では、二日から「まつだ桜まつり」が開催され、約一ヶ月県外から多くの方が訪れます。

この時期、さくら、菜の花を見ながら、歩行訓練を実施し、会員の絆を深めます。

五月、「寄若葉まつり」が開催され、近くの中津川では、川魚のつかみ取りがあり、子供達の歓声や、ステージ場では楽しいシヨ

ー、出店も多く訪れた人々で賑わってました。又寄は、過ごしやすいい所で、川の音、鹿の声が聞こえ、山の動物達にも出合ったり、自然そのもので、最近では、ハイキング、キャンプ、バーベキューと県外から訪れる方も増えてきました。

町では、この他にも「観光まつり」大名行連もあり、夏の終わりの花火大会（足柄合同）とイベントも沢山あります。

自然いっぱい松田で、楽しい一日を、過ごして見て下さい。お待ちしております。



みんなの広場

## ろう児のための

## 放課後ふれあいサロン

二宮町 河原 雅浩  
かわはら まさひろ

最近、障害児の為の放課後等デイサービスが増えつつあります。

しかし、県内には聴覚障害という障害の特性により必要とされる配慮を十分に提供できる放課後等デイサービス事業所はほとんどなく、聴覚障害児は十分なサービスを受ける事ができないのが現状です。このような状況を少しでも改善するために、二〇一八年十一月から、「聴覚障害児のための放課後ふれあいサロン」活動を始めました。

現在は、県立平塚ろう学校がある平塚市と、県立相模原中央支援学校がある相模原市の二カ所において、月数回、午後の数時間、主としてそれぞれの学校に通う聴覚障害児を対象として実施しています。ろう学校以外の学校に通う聴覚障害児も参加しています。

一日の活動内容は以下の通りです。

十四時三十分、学校にて幼稚部生徒を迎え。十四時四十五分、宿題・学習タイム。十五時十五分、学校にて小学部生徒を迎え。十五時三十分、みんなでおやつタイム。おやつの後、交流。十七時、片付け・帰宅準備。十七時三十分、解散・送迎。

保護者の方からはもっと回数を増やしてほしいとの声がありますが、スタッフや場所の問題があり、なかなか要望に応えられないでいます。今後はこの活動を充実させていき、将来は聴覚障害児のための放課後等デイサービスに繋がっていきたくと考えています。



# 私とスポーツ

藤沢市 伊佐治 正幸

私は耳が聞こえません。生まれながらのろう者です。耳が聞こえないだけで、外見からは耳が聞こえない人だとわかりにくいかもしれませんが、私は日本手話で話し、

聴者(聞こえる人)とのコミュニケーション方法は主に筆談やメールが多いです。私は二〇〇〇年六月(社会人五年目)のときに本格的に水泳を始め、今年でちょうど

十八年になります。元々泳ぐのが好きでしたから、競泳に出てみたいというのがきっかけでした。その頃は、オーストラリア代表の競泳選手のイアン・ソープ選手が目されるようになったこともあり、彼の泳ぎに魅せられて、ますます水泳にのめり込んでいきました。

当時は、会社の水泳部、身障者の水泳チーム、一般者の水泳チームにも入らせていただいて、身体障がい者水泳大会や実業団水泳大会、マスターズなど一般の水泳大会まで様々な水泳大会に出場して

いましました。現在は個人練習が中心になり、競泳だけでなく、オアシャンスイムも挑戦するなど水泳を楽しむようにしています。このように水泳への意欲をキープしてきたことが、長年の夢だった全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」の神奈川県代表選手になれたと思

っています。私にとって水泳は生活の一部であり、生涯現役です。だからチャレンジに終わりはないんです。また気持ちを新たに、努力していきたいと思っています。

## 編集室から

身障かながわは、当初、各町村団体会報を発行できない状況のなか、発行されて今に至っているそうです。現在では情報通信が発達して、カラーの印刷物があるふれています。2年前から年始の表紙のみカラーになりましたが、現在も白黒です。やはり、白黒よりもカラーの方が目に留まり、読んでみようと思ってもうらえると思います。費用的には上がりますが、頁数を減らしてもカラーにすれば、多くの方に読んでもらえると思います。また、どの市町村でも会員の高齢化、減少により文章を書ける方が減っています。原稿を依頼することも大変になってきました。ネットでは情報を取得することが容易になった今、身障かながわのあり方を検討するべき時期だと思っています。

## 県身連事業予定

- <7月>
  - 11日(木) 身体障害者高尾山登山 (高尾山)
  - 14日(日) 日盲連関東ブロック職業総会 (東京都盲人福祉センター)
  - 16日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉会館)
  - 21日(日) 県障害者スポーツ大会水泳競技会 (さがみはらグリーンプール)
  - 26日(金) 視力部 青年部研修会 (座間市)
  - 28日(日) ピアスポーツかながわ (カルッツかわさき)
  - G O ! デフ・ワールド 13 (藤沢市明治公民館)
- <8月>
  - 3日(土) デフ・アドベンチャー 2019 (長野県)
  - ~ 5日(月)
  - 3日(土) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (神奈川県ライオンセンター)
  - ※水泳競技対象 (神奈川県ライオンセンター)
  - 4日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
  - 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
  - 17日(土) スポーツサポーター養成講習会 (横須賀アリーナ・サブアリーナ)
  - ~ 18日(日)
  - 17日(土) 文化部講演会 (ひらつか市民活動センター)
  - 18日(日) 視力部団体長会議 (大和市)
  - 25日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (不入斗公園ほか)
  - 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
  - 27日(火) 日盲連全国盲女性研修大会 (名古屋)
  - ~ 29日(木)
  - 31日(土) 3団体合同バーベキュー (未定)
- <9月>
  - 1日(日) 上映会 (藤沢市勤労会館)
  - 5日(木) ピアスポーツかながわ(海老名運動公園総合体育館)
  - 7日(土) スポーツサポーター養成講習会 (横浜市磯子スポーツセンター)
  - ~ 8日(日)
  - 16日(日) 肢体部会ターツ大会 (藤沢市太陽の家)
  - 17日(火) 長寿を祝う会 (県聴覚障害者福祉センター)
  - 22日(日) 日盲連全国盲青年研修大会 (三重県)
  - ~ 23日(月)
  - 23日(月) 無資格者撲滅キャンペーン (藤沢市)
  - 24日(火) 肢体部会野外活動 (埼玉県方面)
  - 29日(日) 全国スポーツ大会神奈川県選手団強化練習会 (荻野運動公園陸上競技場ほか)
  - 全国スポーツ大会相模原市選手団強化練習会 (麻溝公園陸上競技場ほか)
  - かながわデフ・ウェイ 2019 (二宮町)
- <10月>
  - 6日(日) 県身体障害者福祉大会 (横須賀市文化会館)
  - G O ! デフ・ワールド 13 (海老名市総合福祉会館)
  - 12日(土) 全国障害者スポーツ大会 (茨城県)
  - ~ 14日(月) いきいき茨城ゆめ大会 (茨城県)
  - 14日(月) 視力部青年部ハイキング (真鶴)
  - 16日(水) 県精神障害者スポーツ大会 (大和スポーツセンター)
  - バレーボール競技キャプテン会議 (平塚ろう学校)
  - 20日(日) ソフトバレーボール大会 (平塚ろう学校)
  - 24日(木) 肢体部会役員会 (神奈川県社会福祉会館)
  - 29日(火) 高齢部社会見学 (キリンビバレッジ湘南)

※問い合わせ 電話 : 045-311-8736  
045-311-8744 [推進センター]  
FAX : 045-316-6860  
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

## 県身連からのお知らせ

ジバングクラブ特別会員の年会費が令和元年10月1日より、現在の金額、1,350円から、1,400円に変更します。詳しくは県身連ホームページをご覧ください。

編集委員 種田多化子